

ゆう 有 信

第167号

2025 春号

2025年(令和7年)



福岡大学同窓会報

(編集・広報委員会)

発行所

郵便番号 814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1

一般社団法人 福岡大学同窓会有信会

電話 (092) 871-6631 FAX (092) 863-3668

E-mail yushin@adm.fukuoka-u.ac.jp

印刷所

福岡市西区周船寺 3-28-1 正光印刷(株)

2～3面 令和7年度会員大会

次期代議員決まる

4～5面 大交流会、忘年会、賀詞交換会

チャリティーゴルフ、ホームカミングデー

6～7面 学部・部活同窓会報告

ワンゲル60年、自修寮をOBが見学

8～9面 七隈TOPICS

10面 支部周年開催報告

11面 支部ヒストリー

11～13面 支部だより

14～15面 令和7年度 事業計画・収支予算

16面 対談 同窓会の未来を語る

お悔やみ



懐かしい完成当時の1号館Ⅱ写真上
解体前の1号館

令和7年度 会員大会は6月28日

講演会はモーリー・ロバートソン氏

次期代議員決まる

対談 同窓会の未来を語る 川畑理事長×河邊会長(附属大濠高校同窓会)

宮崎県支部40周年、山口支部50周年、鳥取中部支部40周年

有信会のホームページ

有信会

検索



有信会への問い合わせは
yushin@adm.fukuoka-u.ac.jp

福岡大学(母校)の情報は
<https://www.fukuoka-u.ac.jp/>

2025年 会員大会

有信会員、全国から一同に
令和7年度会員大会は6月28日開催

昨年の会員大会

「一般社団法人福岡大学同窓会有信会」の令和7年度の会員大会は6月28日、福岡市のホテルニューオータニ博多での開催が決まった。午後1時から全国の地域支部と職域支部の支部長会を皮切りに、代議員総会、懇親会が行われる。今回は代議員改選後の会員大会であり、会員相互の活発な交流で有信会活動のさらなる活性化が期待される。

懇親会では川畑理事長、来賓挨拶、退任役員、退任支部長への感謝状の贈呈などがある。また、一般市民にも無料開放される講演会も行われ、講師のモーリー・ロバートソン氏（下記参照）が講演する。

会員大会スケジュール

- 開催日 2025年6月28日(土)
- 場 所 ホテルニューオータニ博多
(福岡市中央区渡辺通)
- 会員大会スケジュール

支部長会	13:00～14:00
代議員総会	14:20～15:20
理事会	15:30～15:45
講演会	16:00～17:30
懇親会	17:45～19:45



昨年の支部長会



昨年の代議員総会

(講師略歴)

日米双方の教育を受け、1981年に東京大学とハーバード大学に同時合格した。日本語で受験したアメリカ人としてはおそらく初めての合格者であり、さらにMIT、スタンフォード大学、UCバークレー、プリンストン大学、エール大学にも同時合格した。東京大学を1学期で退学し、ハーバード大学に入学。電子音楽とアニメーションを専攻し、1988年に卒業。2001年にはTBS「情熱大陸」でフィーチャーされ、2005年にはポッドキャストのパイオニアとなり、ネットでラジオ番組「i-morley」を配信。2021年には富山県氷見市政策参与に任命され、国際ジャーナリスト、ミュージシャン、コメンテーターといった多岐にわたる分野で活躍を続けている。



有信会の社会貢献事業である講演会は、話題の講師を招く人気の事業で、一般市民にも無料開放され、毎回多くの来場者がある。今年度の講演会は、ジャーナリストのモーリー・ロバートソン氏を招く。「日本の未来はどうなる？ ～国際情勢と日本の未来～ (仮)」をテーマに、アメリカ・トランプ政権誕生後、国際情勢がどう変わるのか、興味深い話しが聞けそう。

会員大会講演会
講師はモーリー・ロバートソン氏

2025 年 代議員

※学部年代議員数（一）内は前回

【令和 7 年度 代議員定数】			
学 部	定 数	代議員数	
人 文 学 部	43 (40)	9 (9)	
法 学 部	95 (93)	82 (81)	
経 済 学 部	100 (98)	87 (83)	
商 学 部	122 (120)	107 (103)	
商 二 学 部	30 (30)	23 (23)	
理 学 部	23 (23)	16 (15)	
工 学 部	80 (78)	23 (22)	
医 学 部	15 (14)	15 (14)	
薬 学 部	26 (26)	23 (21)	
スポーツ科学部	27 (26)	25 (18)	
合 計	561 (548)	410 (389)	

2 年間。

任期は令和 7 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの

を担う。

高議決機関である定時代議員総会（毎年 6 月）への出席、有信会及び母校の行事等に積極的に協力、参加する役割を担う。

今回の代議員定数は 561 人で、立候補者数は各学部とも定数以内で計 410 人となる。

当選した代議員は、同窓会活動の根幹が母校愛に根ざしたボランティア活動であることを理解し、有信会の最高議決機関である定時代議員総会（毎年 6 月）への出席、有信会及び母校の行事等に積極的に協力、参加する役割を担う。

（終身会費完納者）が条件。

令和 7 年 3 月 31 日で任期満了となる「一般社団法人福岡大学同窓会有信会」の次期代議員の選出があり、新たに 410 人が選ばれた。代議員は有信会定款により福岡大学卒業生 500 人に 1 人の割合で各学部から選出するもので、立候補資格は卒業生で有信会の正会員（終身会費完納者）が条件。

次期代議員決まる

— 同窓会、母校の活動支援に 410 人

母校の名声に一役

— スポーツ活躍選手が有信会を訪問

輝かしい成果を上げた母校のスポーツ選手たちが有信会を表敬訪問した。

訪れたのは、パリ 2024 オリンピックに出場した真野友博選手（工 H 31）男子走高跳び、筒江海斗選手（スポ R 3）男子 400 M ハードル、上田百寧選手（スポ R 4）女子やり投げの 3 選手（中村匠選手（スポ H 31）男子ハンドボールは欠席）と、阪神タイガースからドラフト 3 位指名を受けた木下里都投手（スポ R 5）、昨年 11 月の「第 43 回全日本女子学生剣道優勝大会」で初優勝した女子剣道部、福岡大学附属大濠高校から北海道日本ハムファイターズに 1 位指名を受けた柴田獅子選手の各選手。

川畑理事長は各選手に「さらなる飛躍を期待します」と活躍を称え、有信会から各選手に褒賞金を贈呈した。



大濠高校の柴田選手



全国優勝の女子剣道部



木下里都投手



パリ 2024 オリンピックで活躍の各選手

母校の冬を彩る

— 恒例のイルミネーションが点灯

母校の冬を彩る、イルミネーションの点灯式が昨年 10 月 25 日、母校正門前広場であった。点灯式には、母校から永田学長、有信会から川畑理事長が出席し、元プロ野球選手の杉谷拳士氏と母校卒業生でパリ 2024 オリンピック日本代表の上田百寧選手（スポ R 4）によるトークショーとセレモニーが行われた。イルミネーションの点灯は、この月間。

も行われた。



イルミネーションの点灯式

有信八日会

新卒社会人を激励

— 8月大交流会



自己紹介する新卒社会人

昨年有信会員となった新卒社会人6人を迎え、「8月大交流会」が昨年8月10日、福岡市のTKP天神スカイホールで開催された。

大交流会は有信八日会運営委員会が企画、会員75人が参加

し、新卒社会人を激励した。卓話では福岡大学病院救命救急センター長・仲村佳彦先生が「30分でひとくち救急医療」と題し講演があった。

新卒社会人たちは「はじめまして先輩！」のコーナーで自己紹介を行い、会場を和ませた。アトラクションでは、Dance workout studio La Sana所属の井川良太さん(経済H31)と中庭恵ティファニーさん(人文R33)によるラテンダンスが披露され、参加者はリズム感溢れるパフォーマンスに酔いしれていた。

福引大会では豪華な景品が当たると共に歓声が上ががり、新卒社会人と交流を深めた一日となった。

今年一年間お疲れ様でした

— 忘年八日会



「忘年八日会」が昨年12月7日、福岡市のTKP天神スカイホールであり、会員100人が参加し「有信八日会」でこの一年を締めくくった。アトラクションでは8月の大交流会で好評だった、井川良太さん(経済H31)と中庭恵ティファニーさん(人文R33)によるラテンダンスが再び登場し写真。華麗なダンスが披露され、参加者は惜しみない拍手を送った。

恒例の福引大会では当選者が発表されるたびに参加者は一喜一憂しながら、「来年は必ず当たりたい！」と話していた。

令和7年 新年賀詞交換会に200人

有信会の新年を飾る「新年賀詞交換会」が1月22日、福岡市のホテルニューオータニ博多であり、来賓として母校から永田学長はじめ役職者を招き、会員含め200人が参加した。

川畑理事長が代議員の改選、会員大会についてなど年頭の挨拶を行い、来賓の永田学長が「福大の使命は地域の中核となる人材の育成です。有信会は心強い存在。共に発展しましょう」と新年の抱負を語った。

和太鼓部「鼓舞猿」のメンバーによるパフォーマンスや応援団の応援歌、校歌の演武があり、参加者は新春らしく華やいだ賀詞交換の場を楽しんでいた。



新年の華やかな飾りの前で記念撮影

【令和7年度有信八日会（4月以降）】

会 合 名	開 催 日	開 催 場 所 ・ 時 間
4 月 例 会	4 月 8 日 (火)	会場はすべて TKP天神スカイホール 18:30~20:00
7 月 例 会	7 月 8 日 (火)	
8 月大交流会	8 月 2 日 (土)	
9 月 例 会	9 月 8 日 (月)	尚、8月・12月は 18:30~20:30
10 月 例 会	10月 8 日 (水)	
11 月 例 会	11月10日 (月)	
忘 年 八 日 会	12月13日 (土)	
2 月 例 会	R8 2 月 6 日 (金)	
3 月 例 会	R8 3 月 9 日 (月)	



恒例の福引大会

チャリティーゴルフ・ホームカミングデー



チャリティーゴルフ表彰式

「第87回有信チャリティーゴルフ大会」が昨年10月9日、福岡県小郡市の小郡カントリー倶楽部で開催された。同窓生を中心に241人が参加、秋晴れの絶好のコンディションの中でゴルフの腕を競った。表彰式では、スコアや順位が発表されるたびに大きな歓声が上がった。

この大会は有信会の社会貢献事業の一環として行われるもので、チャリティー募金の贈呈式では、川畑理事長が「社会福祉法人レ・ヴ福岡障がい者サービス事業所立花園」の小方直継施設長に募金を手渡した。

チャリティーゴルフに
241人

募金を施設へ贈呈

最後に応援団によるエールや校歌斉唱が行われ、参加者は母校への愛着を再確認していた。同日は学園祭(七隈祭・雅祭・医学祭)があり、模擬店や催し物も楽しめるなど、卒業生にとって充実した一日となった。



ホームカミングデー

「第19回福岡大学卒業生ホームカミングデー」が昨年11月4日、福岡大学病院内の福大メディカルホールであり、卒業生など200人が参加した。母校の永田学長の主催者挨拶、川畑理事長の謝辞に続き、卒業生の大曲昭恵福岡県副知事(法55)が「新しい時代へ、今母校に思うこと」と題し講演を行った。恒例のお楽しみ抽選会では、参加者にさまざまな景品が提供され、当選者は満面の笑みで受け取っていた。交響楽団や和太鼓部「鼓舞猿」による演奏も披露され、会場は一体感に包まれた。

母校への思い熱く
大曲副知事が講演

ホームカミングデー

「福岡大学退職者の会」が昨年11月4日、福岡大学病院同窓会ラウンジ(メディカルホール2階)で開催された写真展。有信会から川畑理事長が出席し、教職員OBと昔話に花を咲かせていた。退職者の会は例年開催されていたが、新型コロナウイルスの影響で一時中断していた。久しぶりの再会で、退職者同士の親睦を深め、母校とのつながりを再確認する温かな交流会となった。

久しぶりに母校教職員
「退職者の会」有信会女性委員会が祝いに
——西南ゆりの会

西南学院大学の女子同窓会(西南ゆりの会)が主催する「SEINAN Woman of the Year 2024」の記念式典と祝賀会が昨年11月2日、同大であった。有信会も来賓として招かれ、女性委員会の内田副委員長と堤幹事が駆けつけ祝福した。

同賞はゆりの会で毎年活躍した女性卒業生に贈られるもので、今年度は出版社・(株)梓書院会長の田村明美さんが受賞した。田村さんは西南学院大学卒業後、母校法学部でも学び、梓書院設立後、歴史書「季刊・邪馬台国」を創刊した。

記念式典で田村さんを囲む
内田副委員長(右)と
堤幹事(左)

【令和7年度有信会事業開催予定】

会 合 名	開 催 日	開 催 場 所
在 学 生 と の 会 懇 談	5月14日(水)	ホテルニューオータニ博多
	卓話講師：福岡電材株式会社 取締役会長 八尋 茂(経済47)	
有 信 チャリティー ゴ ル フ 大 会	10月上旬	未 定
ホームカミングデー	11月初旬	福岡大学
令和8年 新年賀詞交換会	R8 1月下旬	未 定



学部・部活同窓会

商学部同窓会

—2年ぶりの総会開催

商学部同窓会(川畑懿子会長)は令和6年度の同窓会総会・懇親会を昨年9月30日、福岡市のザ・ロイヤルクラシック福岡で開催した。

母校から同窓会顧問の中川商学部教授、永星副学長、長束商学部長、有信会の瀬尾副理事長らを来賓に、会員43人が参加した。総会は隔年で開催されており、収支報告、監査報告と役員改選の議題が承認され、次期代議員選挙についての報告があった。来賓祝辞では顧問の中川商学部教授が「母校100周年に向け、新たな研究教育へのご支援をよろしく願います」と挨拶した。

余興の部ではマジシャンの廣庭孝次さん(商61)による多彩なマジックショーに歓声が沸いた。最後に万歳三唱で締めくくり、2年後の総会での再開を誓った。



万歳三唱で締めくくった

法学部同窓会

—和やかに近況を報告



法学部同窓会(井上文博会長)の総会が昨年11月4日、文系センター15階会議室で行われた。例年会場である文系センタースカイ라운ジの耐震工事に伴い、懇親会は福岡市天神の「ビヤホールBAKU」で行われた。鳥取県や長崎県の遠方からの出席者を含む39人が参加し、和やかに交流を深めていた。

懇親会では来賓に母校から永田学長、北坂法学部長、有信会から川畑理事長を招き、親しく語らいながら、卒年順での近況報告を行った。恒例の浅野名誉教授の指揮のもと全員で校歌を斉唱し、母校の絆を再確認した。最後に集合写真を撮影し、写真、笑顔の中で会を締めくくった。

商学部第二部同窓会

—現役生も交え総会

商学部第二部同窓会(鬼木彬会長)の第14回総会が昨年12月8日、福岡市のKKRホテル博多であり、母校から永星副学長、村上第二部主事、有信会から川畑理事長、瀬尾、百田両副理事長らを招き、会員と現役学生5人を含む20人が参加した。

永星副学長が母校のイルミネーションライトアップに触れ「二部の学生さんの通学時の疲れをいやしてくれと思います」と挨拶した。参加者の近況などの自己紹介があり、二部時代の思い出などを語った。

また、鬼木会長のご子息でもある鬼木衆議院議員もお祝いに駆けつけた。参加した現役生も「先輩達と交流ができてうれいです」と話していた。

法友会(法律研究部)も定期総会

法友会(法律研究部)の定期総会・懇親会が昨年9月7日、母校文系センター会議室であった。懇親会は福岡市天神のレストラン「ル・ブジョン」であり、22人が参加した。総会では福岡県警勤務の会員による「ITとセキユリティ、金融犯罪」をテーマとした卓話があり、多くの質問が寄せられるなど有意義な内容となった。

懇親会では有信会の川畑理事長から法友会活動への激励があり、会員一同、決意を新たにしたい。松原会長は「令和8年に創部70周年を迎えます。協力と参加をお願いします」と呼びかけていた。



二部の現役生と記念撮影

学部・部活同窓会

ワンダーフォーゲル部

―「還暦」を祝う

体育部会ワンダーフォーゲル部は昨年11月16日、「創部60周年記念パーティ」を福岡市の八仙閣本店で開催した。全国各地から卒業生が駆けつけ、現役部員を含む85人が参加し、盛大に同部の「還暦」を祝った。

有信会から川畑理事長が出席し、祝福した。

ワンダーフォーゲルはドイツ語で「渡り鳥」。海や山を移動するスポーツで歴史は古く、近年、自然を満喫できると学生の人気も高く、現在23人の部員が活動している。初期のメンバーである深田雅人さん(商44)は「大変な時期もありましたが、感慨深いです」と話していた。



ワンダーフォーゲル部60周年を祝った

自修寮OB

―新寮見学し同窓会

「自修寮」で青春を過ごした有志が集い、昨年11月3日、新たに建設された新寮の見学に合わせ「自修寮同窓会」を開催した。旧自修寮は昭和39年に完成、老朽化が進み、令和4年に新築された。全室個室、最新設備に元寮生たちは立派な新寮を見ながら厳しかった寮生活を懐かしんでいた。

見学後は、焼き鳥「しず」に会場を移し、現役寮生も交えて懇親会があり、卒業生たちは先輩後輩の絆を確かめ合いながら、後輩たちの成長と活躍に期待を寄せ、エールを送っていた。



OB会の進行を務めた埼玉県在住の猪野哲之さん(経済57)は「母校の進化を実感し、時代の変化を深く感じる一日でした」と話していた。

「福陽会」を開催

(工学部土木・社会デザイン工学科)

工学部土木・社会デザイン工学科の同窓会「福陽会」が昨年10月5日、福岡市のソラリア西鉄ホテルであり、母校から辰巳工学部長、佐藤学科主任など多くの教員をはじめ、会員136人が参加した。会費徴収の課題、永年会員制度廃止などが総会で報告され、懇親会では古賀亨会長の挨拶、佐藤教授から学科の現況や新職員の紹介があった。

辰巳工学部長の乾杯で祝宴に入り、全員で「福大節」を合唱、博多手一本で閉会した。

第16回化工会懇親会

(工学部化学工・化学システム工学科)

「第16回化工会懇親会」が昨年11月3日、福岡市のアークホテルロイヤル福岡天神で開催された。写真。

1次会には120人が参加、スライドショーやカワムラバンドのライブ演奏、ビンゴゲームなど多彩な企画が催され、会場は大変な賑わいとなった。

同会場での2次会にも90人が参加。世代を超えた交流が図られ、旧交を温めるとともに、新たな縁が生まれる場となった。懇親会には多くの参加者が集い、母校や化工会のつながりの深さを再確認する意義深い機会となった。



福陽会総会

人文学部同窓会が

キャリア形成支援セミナー

人文学部同窓会は、現役生を対象とした「キャリア形成支援セミナー(人文学部共催)」を1月30日、母校816教室で開催した。出版社、(株)梓書院取締役の前田司さん(人文H21)の講演やトークセッションが行われ、社会の第一線で活躍する多様なキャリアを持つ先輩からのアドバイスに聞き入った。

「10年ほど前から現役生支援のために実施している。キャリア形成や就活の一助になれば」と話していた。



先輩の活動を熱心に聞く現役生



玉竜旗で大濠剣道部が優勝

—川畑理事長が祝福

昨年7月に行われた「令和6年度玉竜旗高校剣道大会」において、福岡大学附属大濠高校の男子剣道部が、11年ぶり8度目の優勝を飾った。昨年9月21日、ホテルニューオータニ博多で盛大な優勝祝賀会が開かれた。

祝賀会には有信会から川畑理事長が駆けつけ、同部の玉竜旗優勝の快挙を祝福し、近年各分野で活躍著しい同校の活躍に対して支援金を贈った（写真）。



高校剣士の躍動に声援

—第3回学長旗剣道大会

「第3回福岡大学学長旗高等学校選抜剣道大会」が昨年10月6日、母校第二記念会堂であった。母校剣道部およびOB会「七剣会」が主催、剣道の技能向上と精神性の高揚、高校生の心身の健全な育成を目的に開催している。九州一円から男子36、女子32チームの選抜された高校生が参加した。有信会から川畑理事長が応援に出席し、剣士達の奮闘に声援を送った。男子の部では福岡大学附属大濠高校、女子の部では筑紫台高校がそれぞれ優勝した。



七会剣会江藤会長にお祝いを贈呈

涙あり、笑いあいの熱い戦い

—経済学部ビジネスコンテスト

経済学部ベンチャー起業論の「ビジネスプランコンテスト」が昨年12月21日、母校831教室で行われた。同コンテストは、学生が企業との協働プロジェクト活動を行い、企業の問題に対して、改善点やビジネスプランを提案するもので、学生らしい涙あり、笑いあいの熱い戦いが繰り広げられ、HEROESプロジェクトが優勝した。

参加した学生たちは順位や勝敗以上の貴重な経験を得ていた。また昨年9月には学生がインターン先企業の課題を分析、解決策を提案する「企業対決」も行われた。



華やかに力強く

—「鼓舞猿」13回目の定期演奏会

和太鼓部「鼓舞猿」の13回目となる定期演奏会「響」が昨年9月7日、福岡市民会館であった。鼓舞猿の演奏をひと目見ようと、ほぼ満席の観客が訪れ、会場は熱気に包まれた。

同部は、2005年に発足、愛好会、同好会を経て16年に部へ昇格し、部員も現在150人を越える。今回第18〜20代の部員が中心に練習を重ね演奏を披露した。華やかで力強い演奏に人気が集まり、県内外から海外まで演奏依頼が絶えない。



「応援団と共に」—第33回応援団演武会

応援団の第33回演武会「応援団と共に」が昨年9月15日、福岡市の博多市民センターであり、伝統の演武をはじめ、ブラスバンド部門、チアリーダーの友情出演が花を添えた。演武では、応援歌の「我が福大」に始まり、「福大音頭」「覇者への

道」「福大どんたく」「福大節」が披露され、演武が決まるたびに、応援団OBをはじめ力強い声援が会場に響いた。現在、リーダー部門の部員は5人。少数ながら伝統を継承し、福西戦や学校行事で母校にエールを送っている。





124人が学び舎巣立つ

—前期卒業式を挙行

「令和6年度前期卒業式」が昨年9月28日挙行政され、124人の学生が晴れて卒業の日を迎え、新たな有信会員となった。式典は応援指導部ブラスバンド部門による序曲演奏と国歌斉唱に続いて、永田学長が卒業生総代の富永麟盛さん(商学部)に学位記を授与した。永田学長の式辞に続いて、有信会を代表して村上理事が祝辞(川畑理事長代読)を述べた。写真。

閉式後は、各学部ごとに分かれ、学位記や卒業アルバムが卒業生一人ひとりに手渡された。厳かな雰囲気の中にも喜びと感謝が溢れる式典となり、卒業生たちは新たな一歩を踏み出した。



カーボンニュートラルの実現へ

—母校でシンポジウム開催

「第3回福岡大学カーボンニュートラル推進拠点シンポジウム」が昨年10月8日、母校福大メディカルホールで開催された。シンポジウムでは人材育成をテーマに、カーボンニュートラル推進に向けた若手リーダーの取り組みや高校生の活動紹介、吉本興業の河本準一氏によるSDGsに関する講演があった。

大学内外の関係者が具体的な研究や実践例を発表し、今後も多様な課題に取り組み、さらなる福大でのカーボンニュートラルの実現を目指していく。



伝統の福西戦

—3季連続、63回目の優勝

硬式野球部の伝統の一戦「福西戦」が昨年9月23日、小都市野球場(福岡県小都市)で行われ、多くの卒業生、教職員が応援に駆け付けた。応援団、チアリーダー、ブラスバンドに加え、和太鼓部「鼓舞猿」の演奏が場内を盛り上げ、応援ムードも高まった。始球式では永田学長がユニフォーム姿で、力強い投球を披露した。写真。

試合は西南学院大学の反撃を抑え6―3で勝利を収めた。このあと9月29日の九州六大学野球秋季リーグ戦最終戦において北九州市立大学を3―2で下し、3季連続、通算63回目の優勝を果たした。



体育部会が合同送別会

—各競技で活躍の4年生を送る

「第59回福岡大学体育部合同送別会」が昨年12月14日、福岡市のヒルトン福岡シーホークホテルで盛大に開催された。体育部会4年次生の功績をたたえ、同時に学生たちの結びつきを繋げるもので、母校から永田学長、各学部、体育部各部の指導者、有信会から川畑理事長を来賓に、約300人の4年生部員を見送った。

川畑理事長は、「卒業後は有信会の一員として後輩たちを支え、集まり、共に応援してください」と、激励の言葉を送った。



卒業する選手と記念撮影

「志愿したい大学ランキング」—母校が九州・沖縄で1位に

「進学ブランド力調査 2024」(昨年8月、リクルートが実施)の『志愿したい大学主要新聞ランキング』において、母校が九州・沖縄エリアで1位の評価を受けた。

この調査は、高校3年生の大学に対する志愿

度、知名度、イメージを把握することを目的に、全国の国公立大学 788 校を対象に行われた。

今回の調査結果は、毎日、産経、日経、西日本の主要新聞をはじめ、多くの教育関係のメディアなどで取り上げられ、母校の名声が広く報じられた。



支部だより(周年支部開催報告)

宮崎県支部 第40回記念総会

—宮崎の結束と誇りを再確認

宮崎県支部の第40回記念総会が昨年10月5日、アートホテル宮崎スカイタワーで開催され、会員89人が参加した。

母校から小玉医学部長、有信会から川畑理事長を来賓に迎え、華やかな祝賀の場となった。児玉支部長の挨拶に続き、小玉医学部長から大学病院本館竣工について報告があった。川畑理事長は「夏のパリ2024オリンピックに母校出身者が4人も参加、活躍しています」との挨拶に会員たちは熱心に聞き入り、母校の発展や活躍に胸を躍らせていた。



円陣を組み校歌斉唱

懇親会では、1年ぶりの再会を喜ぶ笑顔があちこちで見られ、地元企業から提供の景品が当たる「お楽しみ抽選会」で当選者が呼ばれるたびに大歓声が上がった。盛り上がりを見せた。最後に、全員で円陣を組み校歌を斉唱し、次回の再会を誓いながら名残惜しくも散会したが、宮崎県支部の結束と母校への誇りを再確認した。



挨拶する児玉支部長

山口支部 創立50周年記念総会

—50年の節目を賑やかに祝う

山口支部の創立50周年記念総会・懇親会が昨年10月19日、湯田温泉「かめ福オンプレイス」にて開催された。母校から則松副学長、有信会から川畑理事長をはじめ、山口県内各支部からの来賓7人、会員31人が出席し、50年の節目を盛大に祝った。



懇親会では、川崎支部長が「コロナ禍もあったが、七隈の地で育んだ絆を大切にしたい」と挨拶、続いて則松副学長、川畑理事長が祝辞を述べた。最年長参加の清水昭宏さん(法42)の乾杯で祝宴に入り、余興の部ではマジシャン・ようじさんによるマジックショー。写真やお楽しみ抽選会に会場は大いに賑わいを見せた。初対面同士でもすぐに打ち解けるなど、温かい交流の輪が広がった。

最後に校歌斉唱と万歳三唱で締めくくり、支部の結束と母校への思いを新たにする充実した一日となった。



鳥取中部支部 創立40周年総会

—支部再興へ新たな決意

鳥取中部支部の創立40周年総会が昨年10月27日、倉吉市の「打吹回廊」であり、有信会から水原理事、松中広報委員、鳥取東部・西部支部からの来賓6人、会員10人が出席した。

昭和59年に支部が発足、その後活動が停滞、活動再興へ向け6月から準備を重ね、新たな支部旗の贈呈も行われた。懇親会では、久々に顔を合わせた同窓生たちが旧交を温め、和やかな雰囲気の中で親睦を深めた。

また、支部活動の継続に向け、会員名簿の情報確認作業が報告され、返信や不着の課題についても今後解決を図り、毎年秋の総会開催を目標に、支部活動を活性化させていく方針を共有した。深田支部長は「総会開催にあたり本部からの祝金、遠路の来賓派遣に對し、支部一同心より感謝しています」と話していた。



総会で挨拶する深田支部長

支部ヒストリー



名古屋城は東海のシンボルですねと話す竹嶋さん

東海支部

竹嶋典雄支部長(工61)

「縁」を紡ぎ地域と共にー東海支部の未来

山口県岩国市生まれ。母校では機械工学を学んだ。学外活動にも参加し、多くの仲間と過ごす中で、「4年間の寮生活を通して、仲間たちと共に切磋琢磨した日々は、今でも心の支え」と振り返る。卒業後は、愛知県自動車部品メーカーに就職した。

東海支部は1972年に設立、愛知、岐阜、三重三県を中心に会員数は約760人。年1回の総会をはじめ、隔月の「八日会」、ゴルフコンペ、カラオケ、花見などを通じて親睦を深めて

きたが、コロナ禍以降、若手会員の新規参加はゼロだ。「OBが集まりたくなるようなイベントを提供し、参加して良かったと思ってもらえるような場を作りたい」と、同窓会が身近で魅力的な存在になることを目指す。

支部活動が地域社会に貢献できるような形も作り上げたいと、地域との繋がりも重視する。地元では祭り保存会で伝統文化を継承する活動に長年携わってきた。「地域の人々との繋がりがどれだけ大切かを実感しています。同窓会も同じだと思います」と語る。一方で、現実的な課題は「人とお金」。東海エリアの会員にSNSを駆使した総会案内を送付するなど、参加者数の増加に力を入れている。また、新規会員の発掘と会員間のネットワークを強化し、支部活動の活性化を図っていく計画だ。

「縁あって福大で学び、縁あってこの地域で暮らしている。支部会員同士がより楽しく、豊かに過ごせるような場としたい」と支部長として東海支部の未来に対する期待を寄せる。

支部だより (2024年6月~2025年1月開催分)

西日本シティ銀行支部



西日本シティ銀行支部総会が昨年7月17日、T K P天神スカイホールであり、母校から永田学長、有信会から川畑理事長をはじめとした来賓と会員106人(うち新会員29人)が参加した。総会で加藤常務から「会員5000人の大所帯であり、若手の活躍を期待している」と挨拶があった。懇親会は熊本や佐賀からも参加、新会員の自己紹介も行われ、温かい拍手で迎えた。最後に支部の発展を誓い合い、無事に閉会した。

豊和銀行支部



豊和銀行支部総会が昨年9月27日、大分市中央町の「オロチエ」であり、来賓として有信会から松原理事、大分支部から森支部長と石田事務局長が出席、支部内の参加者は本年入行の新人を含む23人で、総勢26人が集った。会場では、近況報告や大学時代の思い出を楽しく語り合い母校の同窓生同士で盛り上がり、ひとときが流れた。大分県内3支部ある職域支部として、今後も親交を深め、支部活動を活発に進めていく。

福岡銀行支部



福岡銀行支部総会が昨年7月26日、母校スカイラウンジであり、新入会員の歓迎も兼ね(新入会員32人中21人)、母校から永田学長、有信会から川畑理事長はじめとした来賓、会員の総勢129人が参加した。新入会員たちは社会人としての感想を述べ、頼もしい言葉が多く聞かれた。プレゼント抽選会では母校グッズの当選を賑わいを見せた。応援団による演武、校歌斉唱に母体感を感じ、充実した交流と親睦が図られた。

大分銀行支部



大分銀行支部総会が昨年11月3日、大分市の「トキハ会館」であり、会員34人と大分銀行役員3人が参加した。総会では渡辺支部長が大学の近況について説明、決算・予算・規約変更など5議案が原案通り可決された。懇親会は野田副支部長の乾杯で開会し、恒例の大抽選会では先輩会員が若手会員に当選を譲る場面もあり、会員間のつながりを感じた。最後は全員で校歌斉唱を行い、OB会員の梶原氏による万歳三唱で総会を締めくくり閉会した。

詳しくは有信会ホームページ・「各支部より」をご覧ください。

有信会

検索

大分市役所支部

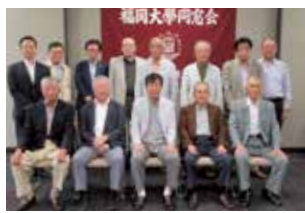
令和6年度大分市役所支部総会が1月31日にトキハ会館であり、母校から関口人文書部長、有信会から水原理事、大分支部の森支部長、役員の来賓4人と会員35人が参加した。総会では役員改選を行い、新支部長に後藤賢二氏(エフエフ)が就任した。懇親会では近況報告や抽選会が行われ、全員に景品が当たると大いに盛り上がった。



最後に安部顧問の万歳三唱で閉会し、和やかな雰囲気の中、支部の結束を深める会となった。

奈良支部

令和6年度奈良支部総会が昨年6月8日、亀の井ホテル奈良であり、有信会からは水原理事、大阪支部の小宮事務局長を来賓に会員11人が参加した。総会では、母校の発展と学生時代の思い出を語り合いながら、議案を承認。懇親会では、美酒と美食を楽しみながら、お互いの近況報告を交え親睦を深め、盛況のうちに終り。今後は、新たな会員の参加を促進するため、定例会(9、12、3月)の内容充実など、魅力的な支部活動を展開していく。



支部活動の充実に向けて引き続き努力していく。

佐世保支部

第20回佐世保支部総会が昨年7月12日、グランドファーストイン佐世保であり、来賓に母校の山下副学長、有信会の石橋理事、長崎支部の谷支部長、吉田事務局長、諫早支部の藤山支部長、高橋相談役を迎え、会員31人が出席した。総会では、陸自の阿部俊文一佐による「防衛―この一年―」をテーマとした講話があり、懇親会では和やかな雰囲気の中で交流を深めた。参加者の減少や女性会員の参加不足が課題だが、支部活動の充実に向けて引き続き努力していく。



支部活動の充実に向けて引き続き努力していく。

久留米支部

第41回久留米支部総会が昨年7月19日、ハynesホテル久留米であり、母校から北坂法学部長、有信会から石橋理事、相川大伴田支部長、橋本浮羽副支部長を来賓に、会員含め70人が参加した。コロナ禍で5年ぶりの開催となった。新支部長の中村誠治氏が挨拶し、前支部長の逝去を受け、中村支部長の就任で本年の開催が実現した。議事では決算報告等が審議、賛成をもって承認。懇親会では抽選会が盛り上がり、最後に校歌斉唱で閉会となった。



支部活動の充実に向けて引き続き努力していく。

伊都支部

第22回伊都支部通常総会が昨年7月26日、福岡市西区の山水荘であり、来賓に母校から志渡澤大学事務局長、有信会から瀬尾副理事、会員23人が参加した。新規参加者は4人で支部会員数は微増。総会では執行部提出の2議案が可決された。その後、有信会本部の活動報告や現役、卒業生の活躍に関する話と激励の言葉を頂いた。懇親会では、卒業生によるランタンスが披露され、万歳三唱で締めくくられ、盛況のうちに閉会した。



支部活動の充実に向けて引き続き努力していく。

別府支部

別府支部総会が昨年8月18日、別府市のホテルアーサーであり、有信会から水原理事はじめ来賓4人と会員18人(うち新規会員1人)が参加した。県内の豊後高田支部の新設や松川副支部長の市議会議員勤続25年表彰などが報告された。また、母校の紹介動画も上映され、在学生のインタビューを通じて、学生の質の向上が感じられ、大変好評だった。恒例の会員の近況報告やユニークなエピソードの紹介もあり、和やかな雰囲気広がった。



支部活動の充実に向けて引き続き努力していく。

萩支部

第6回萩支部総会が昨年8月24日、ホテル萩本陣であり、来賓として母校の永星副学長、有信会の松原理事が出席、田中萩市長も駆けつけ、総勢25人が参加した。総会では井上支部長が母校と萩市の更なる交流と発展を呼びかけ、事業、会計報告、事業計画、予算が承認された。永星副学長が母校の現状についての講演し、懇親会では学生時代の思い出や現在の状況を語り合うなど活気に包まれた。最後に、全員で校歌を斉唱、鳥田支部役員の音頭で万歳三唱を行い、次回の再会を誓い閉会した。



支部活動の充実に向けて引き続き努力していく。

島原支部

島原支部総会が昨年8月24日、安兵衛であり、コロナ禍で総会が中止されていた中であったが、10人の会員が参加した。来賓として、有信会の水原理事が出席し、貴重な挨拶をいただいた。総会では、徳永支部長が、今後の若年層および女性層の会員増強を目指し、次回総会には多くの参加者を募ることを目指すとの挨拶があった。少ない人数であったが久しぶりの交流で盛り上がり、次回総会にはさらに多くの会員の参加を期待する。



支部活動の充実に向けて引き続き努力していく。

田川支部

第51回田川支部総会が昨年9月14日、田川市後藤寺の高羽会館であり、来賓に母校の則松副学長、有信会の川畑理事長をはじめ、近隣支部の役員、会員44人が参加した。総会では決算、事業報告、事業計画が審議され、役員改選で新役員が決定し、議案は満場一致で承認された。懇親会では寺西添田町長、安藤田川副市長、亀川田川商工会議所会頭の挨拶の他、ジャズ・デュオも演奏され、最後に参加者全員で校歌を斉唱、万歳三唱を行い、懇親会では盛況のうちに閉会した。



支部活動の充実に向けて引き続き努力していく。

島根東部支部

島根東部支部の第46回総会が昨年9月28日、松江エクセルホテル東急であり、来賓に有信会から水原理事を迎え、16人の会員が参加した。事業、収支決算報告、事業計画、収支予算案を可決。懇親会に先立ち「生成AI事情」をテーマに会員のIT社長がミニ講演を行い、参加者から好評で次回も実施する。懇親会では、初参加者や30代の新会員もあって活気を帯び、予定時間を超えて大層過ぎた。最後に、吹奏楽部OBの指揮で校歌を斉唱、水原理事の博多手一本で会は締めくくった。



支部活動の充実に向けて引き続き努力していく。

鳥取西部支部

鳥取西部支部の総会が昨年10月12日、米子市角盤町の「海王」であり、会員16人が参加した。40周年を迎える鳥取中部支部の深田支部長も駆けつけくれた。総会では、田子支部長の勇退と三好氏商45年卒)の新支部長就任が発表された。議事では決算承認、懇親会、近況報告が行われ、総会は無事終了した。



支部活動の充実に向けて引き続き努力していく。

直轄支部

第53回福岡大学同窓会有信会直轄支部総会が昨年10月18日、エクセレントガーデンであり、来賓に母校から永星副学長、有信会から川畑理事長が出席し、会員40人が集った。総会では黒木顧問の挨拶で開会し、金子支部長の挨拶に続き、役員変更案や令和5年度の事業報告・収支決算案が承認された。懇親会では、永星副学長、川畑理事長の挨拶があり、樹谷京の乾杯で開宴、SASEBOキャンディーの歌とダンスで賑わいを見せ、校歌斉唱と万歳三唱で閉会した。



支部活動の充実に向けて引き続き努力していく。

支部だより

(2024年6月~2025年1月開催分)

大分支部



大分支部第48回総会は昨年10月19日、ホテル日航大分オアシスタワーであり、来賓として母校から永星副学長、有信会から石橋康治理事を迎え、会員110人が参加し盛大に行われた。総会では活動、会計報告が承認され、安部氏(法60)の乾杯発声で懇親会が開宴、抽選会の豪華景品に会場は歓声に包まれた。最後に全員で肩を



組み、福大節と校歌を大合唱。佐野氏(体育57)の音頭で万歳三唱し閉会した。温かい交流が深まり、来年の再会を誓い合った。

鹿児島支部



鹿児島支部総会は昨年10月19日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルであり、来賓として母校の辰巳工學部長、有信会より村上理事を迎え、会員90人が参加した。総会では、福田支部長の挨拶、事業および会計報告、事業計画および予算計画の審議が行われ、満場一致で承認。懇親会は、田上眞澄氏の司会のもと、福田支部長の挨拶や下鶴鹿児島市長の祝辞があり、坪久田副支部長の乾杯で開宴。親睦ゴルフ大会の成績発表や福大節・七隈トンビ・校歌の合唱、水溜副支部長の万歳三唱で盛況の中、閉会となった。

熊本支部



第49回熊本支部総会・懇親会が昨年10月22日、熊本ホテルキャスルであり、悪天候の中、母校から吉満副学長、有信会から松原理事を迎え、総勢202人が参加した。総会では、松永氏(法H19)による講演があり、懇親会では「福岡大学〇×クイズ大会」を行い盛り上がりを見た。また、第30代応援団長團長の熊川氏(経済H元)が学ラン姿で登場し、会場を大いに沸かせてくれた。最後に、最年長の寺地氏(経済39)が中締めを行い、来年の第50回大会での再会を誓い合った。

神戸支部



神戸支部総会が昨年10月26日、神戸市元町の「東光」であり、急用による欠席者2人を除き会員9人が参加し、和気藹々とした雰囲気の中で総会および懇親会が行われた。総会では新役員選挙が実施され、10年ぶりの改選で安田新支部長が誕生した。新支部長の下で支部のさらなる発展を図ることが確認され、出席者全員の共感を得た。懇親会では参加者同士が親睦を深め、和やかな時間が流れる中、無事閉会となった。

沖縄支部



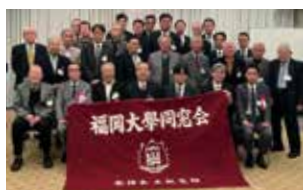
第21回沖縄支部総会が昨年10月26日、ホテルパームロイヤルN A H Aであり、有信会から石川直茂理事を来賓に迎え、会員22人が参加した。石川理事から母校の発展状況や有信会の現状について報告があった。10年後の母校100周年には「会員全員で参加しよう」と意欲的な声も上がった。総会では議事が全て承認され、懇親会では、新会員も加わり、名刺交換や情報交換が活発に行われた。終始和やかな雰囲気の中で校歌を斉唱し、盛会のうちに閉会となった。

宇部支部



令和6年度有信会宇部支部総会が昨年11月8日、国際ホテル宇部「クリスタル」にてあり、来賓に母校から辰巳工學部長、有信会から松原理事、会員19人が参加した。冒頭、6月に逝去された小川裕己前支部長をはじめ物故会員には黙祷を捧げた。乾杯後の懇親会では、出席者が学生時代の思い出を語り合い、会場は大いに盛り上がりを見せた。最後に全員で校歌を斉唱、万歳三唱を行って締めくくった。今後、会員ネットワーク拡大と参加者増加を目指す。

大阪支部



第77回大阪支部総会関西総会が昨年11月9日、ニューオーサカホテル新大阪であり、来賓として母校の吉満副学長、有信会の水原理事が参加した。総会では3部構成で、第1部で水原理事が「福大発健康づくり」と題し講演。第2部では、吉満副学長、来賓からの祝辞があり、母校の近況を聞いた。第3部の懇親会では、新入会員や久しぶりに参加した会員が自己紹介や名刺交換を行い、賑やかなひとときとなった。長時間の会があったという間に過ぎ、参加者は惜しみながら散会した。

京築支部



第18回京築支部総会が昨年11月9日、京都ホテルであり、母校から則松副学長、有信会から川畑理事長、近隣支部の支部長ら16人の来賓を迎え、会員および行橋市役所、苅田町役場の参加者など26人が出席した。総会では榎全支部長が挨拶し、支部の活動方針や課題を報告。来賓者から母校や有信会の現状や今後の展望について話があった。懇親会では参加者同士が親睦を深め、和やかな雰囲気の中で閉会し、さらなる会員参加を目指し、支部活動の充実を確認した。

徳島県支部



令和6年度徳島県支部総会が昨年11月17日、徳島グランヴィリオホテルであり、来賓3人、会員12人が参加した。総会では、規約の改正、役員選任が承認された。錦野支部長(法49)の下、山下副支部長(商57)、有吉事務局長(商二60)、松島事務局次長(体育H10)、小寺監査役(経済46)の新しい体制で、支部活性化に向けて活動を深めていく。限られた時間の中でも有意義な会員交流も行われ、全員で校歌を斉唱、次回の再会を約束し閉会となった。

八女筑後支部



第23回八女筑後支部総会が昨年11月22日、6年ぶりに筑後市「日若屋」であり、母校から長束商学部長、有信会から小島理事、近隣支部5人の来賓と会員34人が参加した。故国武見久氏ら支部関係者への黙祷の後、活動、会計報告を承認。八女筑後支部出身でタマホーム株式会社社長の玉木康裕氏が「ソフトバンクホークスの誘致について」をテーマに講演。懇親会では校歌斉唱と万歳三唱が行われ、和やかな雰囲気の中、無事に散会した。

香川県支部



第34回香川県支部総会が11月30日、J Rホテルクレメント高松であり、来賓・会員21人が参加。来賓の永星副学長、川畑理事長より大学施設の再整備計画や卒業生の活躍について報告があった。記念講演を松浦一平氏(回生病院理事)が務め、母校医学部との連携やロボティックアーム手術支援システムを解説。総会では地域医療貢献やアスリート進学支援など支部活動の成果も共有した。看護専門学校OGの初参加も話題となり盛会の内に終った。

岩国支部



岩国支部総会が昨年12月7日、岩国市麻里布町の「割烹喜代」であり、会員12人が参加した。小規模な支部ではあるが、和気藹々とした雰囲気の中、長年にわたって開催され、同窓の絆を深めている。開催にあたっては、有信会の川畑理事長や事務局スタッフの支援が不可欠であり、会員からは謝意の声が聞かれた。年末年始に向けて、会員の健康を祈る言葉で総会を締めくくった。



令和7年度 事業計画書

一般社団法人福岡大学同窓会有信会は、昭和12年3月に福岡大学の前身福岡高等商業学校第一回生卒業と同時に発足し、名称を「友信会」とした。昭和27年5月25日に「有信会」に名称変更し、文部省（現文部科学省）の許可を得て昭和30年2月1日社団法人有信会として発足した。公益法人制度改革三法の施行により、内閣総理大臣の認可を得て平成25年4月1日に一般社団法人に移行し、一般社団法人福岡大学同窓会有信会（以下「有信会」という。）に名称変更した。本年度は、同窓会発足から88年目、社団法人発足から70年目、一般社団法人移行から12年目を迎えることになる。

有信会は、母校のご理解とご支援により活動しており、会員相互の情報交換、親睦、異業種交流等をもって同窓会の活性化を図ると共に、大学との協議、連携を継続し、卒業生と母校の絆をより強固なものになるよう努め、母校の更なる発展充実に寄与する。同時に、地域に受け入れられる公益活動等を継続し、団体としての社会的責任を果たす。

令和7年度は、前年度同様すべての有信会事業を展開してゆく。

1 母校への支援

母校及び在学生への支援を行う。

- (1) **母校及び在学生への経済的支援等** 母校において、卒業生を母校に迎える「ホームカミングデー」を大学との共催により令和7年11月初旬に行う。

母校在学生の課外活動への支援、対外試合での応援を同窓会会員に呼びかける。

- (2) **在学生との懇談会を行う。** 同年5月14日(水)、ホテルニューオータニ博多において在学生との懇談会を行う。在学生は有信会にとって準会員であり、卒業後は有信会の会員になることから、有信会構成員の後継者としての自覚を促し、指導的人材の育成にも取り組む必要がある。
校友会所属部員の学生、一般学生及び留学生にも参加を呼びかけ参加学生が、地域経済、文化芸術、その他の部門で活躍されている指導的役割を果たしている多くの卒業生と「実業界の現状と展望」、「就職への心構え」、「社会性の涵養」等につき忌憚のない意見を交わす有意義な情報交換の場にするると共に、卒業後は同窓会組織としての有信会活動に積極的に参加しやすい広報活動を行う。

令和7年度の講師は、昭和47年経済学部卒業 福岡電材株式会社の八尋 茂 取締役会長にお願いしている。

- (3) **就職支援ガイダンス等を行う。** 在学生と有信会会員との就職相談会、専門職有資格者による国家資格取得への支援ガイダンス等について、母校キャリアセンターの活動等を積極的に支援する。

- (4) **母校のエクステンション活動及び情宣活動を支援する。**

2 公益活動の推進

地域社会との連携を深める。また地域福祉を含めた公益活動を実施する。

- (1) **講演会の開催** 令和7年6月28日(土)、ホテルニューオータニ博多において、会員大会開催

当日、一般市民も参加可能な「公開講演会」を開催する。

講師 評論家・コメンテーター モーリー・ロバートソン氏

- (2) **社会福祉活動** 有信ゴルフ会は、秋季にチャリティーゴルフ大会を開催し、チャリティー募金を福祉施設等に寄贈する。

- (3) **校友会OB会や各支部での各種ボランティア活動を支援する。**

3 事業活動の充実と会員相互の親睦強化

- (1) **在学生との懇談会** 前記のとおり。

- (2) **ホームカミングデー** 前記のとおり。

- (3) **会員大会** 令和7年6月28日(土)、ホテルニューオータニ博多において行う。

理事会、支部長会、代議員総会にて令和6年度事業報告及び決算報告役員の選任等を行い、講演会終了後、懇親会を開催する。

- (4) **有信チャリティーゴルフ大会** 前記のとおり。

- (5) **新年賀詞交換会** 令和8年1月下旬、ホテルニューオータニ博多（予定）において行う。

- (6) **有信八日会** 会員の懇親、情報交換、異業種交流等の目的で「有信八日会」を年9回開催する。

4月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、2月及び3月に開催する。

4 各種会議・会合の有効な運営

各種会議・会合を必要に応じ開催し、組織の活性化に努める。

- (1) **理事会** 年5回ないし6回開催する。有信会活動に関連する重要事項を精査のうえ審議し、業務の円滑化に努める。

- (2) **定時代議員総会** 令和7年6月28日(土)、ホテルニューオータニ博多において行う。

主たる議題は、令和6年度事業報告及び決算書類等の承認及び役員の選任である。

- (3) **地域・職域支部長会** 同年6月28日(土)、ホテルニューオータニ博多において行う。

- (4) **各委員会** 有信会の活動分野ごとに設けている委員会を必要に応じて開催する。諸問題の協議内容の充実と円滑な推進を図る。

- (5) **母校福岡大学との連絡会議** 母校と有信会との意思疎通を図るため、必要に応じて関係役職者や関係部局と連絡会議を行う。

5 広報活動の充実

全国の有信会会員に広報紙「有信」とホームページを通して、有信会の運営方針や活動状況、各支部の活動、母校の現況などを発信する。「親しみやすく、分かりやすい」広報になるよう努める。

- (1) **広報紙「有信」** 活字媒体としての広報紙「有信」は、会務報告、会員の活動情報、支部の活動状況報告等についてホームページと連携しつつ、多面的かつ掘り下げた内容になるように充実した紙面を目指す。

- (2) **ホームページ** ホームページの内容の更新に努め、会員に最新の情報を届けると共に、各種行事や支部の行事予定、会員提供による企業情報等を充実、学生の顕著な活躍や成績のタイムリーな掲載に努める。また、学生の活動状況を知るために母校ホームページのアクセスが簡単にできるように努める。より使いやすいホームページを目指し、随時見直しを図っていく。

6 組織の活性化

有信会を支えるのは、各地域支部、職域支部及び学部同窓会であり、また、校友会OB会である。これらの組織を相互に有機的に機能させ、若年層及び女性会員が参加しやすい企画を立案すると共に、異業種間の交流の促進を図る。その他、会員が気軽に有信会活動に参加できる環境、情報をあらゆる組織を通して提供するように努め、もって有信会自体の行事への参加者増加につなげていく創意工夫をする。

7 会員データベースの充実と情報管理体制の徹底

会員データベースは、同窓会活動の源になる情報であり、広報、各種会合案内や終身会費納入願いの送付に欠かせないものである。個人情報保護法を遵守して個人情報の取得、その管理に遺漏のないように努める。

8 財政基盤の強化

- (1) **終身会費徴収の徹底** 終身会費は、同窓会活動を行う上で大切な財源である。平成27年度以降の卒業生については、大学による全額委託徴収が行われているが、それ以前の卒業生については、終身会費の未納者が存在する。

未納者には、広報紙「有信」やホームページ等を活用して納付を働きかける。

- (2) **経費節減の努力** 経費節減に努め、事業活動においても効率的な運営を行うように努める。

◆有信会の主なスケジュール◆

月日 予定行事

4/ 1 大学入学式

16 会計・業務監査

20 薬学部同窓会総会

28 第1回理事会

5/ 3 少林寺拳法部創立60周年記念式典

10 糟屋支部総会

14 在学生との懇談会

16 北九州支部総会

22 佐賀支部総会

24 日田支部総会

〃 経済学部同窓会総会

25 古賀支部総会

31 工学部(電気)「福電会」同窓会総会

中～下 長門支部総会

6/ 7 東京支部総会

〃 伊万里有田支部総会

11 長崎支部総会（70周年）

21 東海支部総会

28 令和7年度会員大会・第3回理事会

上 第2回理事会

〃 山鹿支部総会

中 奈良支部総会

〃 豊後高田支部総会

7/ 5 医学部「烏帽子会」同窓会総会

18 久留米支部総会

20 バレーボール部創部90周年記念総会

25 福岡銀行支部総会

上 筑紫野支部総会

〃 太宰府支部総会

〃 諫早支部総会

中 第4回理事会

〃 唐津支部総会

〃 八代支部総会

下 小郡三井支部総会

中～下 伊都支部総会

8/30 萩支部総会

9/13 田川支部総会

27 前期卒業式

上～中 佐世保支部総会（20周年）

下 島根東部支部総会

〃 大野城支部総会

〃 豊和銀行支部総会

[注] 上中下は上旬、中旬、下旬

スケジュール等に変更がある場合がありますので、事前にご確認ください。

令和7年度 収 支 予 算 書

令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで

単位：円

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)			
I 事業活動収支の部			賃借料支出	910,000	900,000
1 事業活動収入			光熱費支出	260,000	250,000
①財産運用収入			支払手数料支出	260,000	250,000
財産運用収入	550,000	11,000	公租公課	70,000	70,000
②会費収入			雑費支出	4,310,000	4,310,000
会費収入(1)	130,837,500	128,580,000	管理費支出計	40,000,000	40,595,000
会費収入(2)	3,800,000	3,500,000	事業活動支出計	143,575,000	138,880,000
③負担金収入	2,730,000	2,720,000	事業活動収支差額	△206,500	1,582,000
④有信共益事業収入			II 投資活動収支の部		
有信八日会収入	3,550,000	3,700,000	1 投資活動収入		
有信ゴルフ会収入	1,900,000	1,950,000	①退職給付引当預金取崩収入	0	0
⑤雑収入	1,000	1,000	投資活動収入 計	0	0
事業活動収入計	143,368,500	140,462,000	2 投資活動支出		
2 事業活動支出			①特定資産引当資産支出		
①事業費支出			退職給付引当預金支出	851,000	567,000
母校援助費支出	28,650,000	28,400,000	②固定資産取得支出		
広報紙発行費支出	32,790,000	31,670,000	事業積立金Ⅰ繰入支出	30,000,000	30,000,000
ⅠT事業費支出	4,300,000	4,300,000	什器備品取得支出	1,000,000	500,000
会員大会費支出	6,180,000	5,230,000	投資活動支出計	31,851,000	31,067,000
講演会費支出	3,200,000	4,470,000	投資活動収支差額	△31,851,000	△31,067,000
新年賀詞交換会支出	2,905,000	2,695,000	Ⅲ 財務活動収支の部		
支部援助費支出	18,450,000	15,870,000	1 その他の収入		
有信共益事業支出			前受会費収入	103,147,500	98,175,000
有信八日会支出	5,150,000	3,700,000	その他の収入計	103,147,500	98,175,000
有信ゴルフ会支出	1,950,000	1,950,000	2 収入調整勘定支出		
事業費支出計	103,575,000	98,285,000	前受会費調整支出	99,150,000	97,425,000
②管理費支出			収入調整勘定支出計	99,150,000	97,425,000
給料手当支出	16,760,000	16,970,000	財務活動収支差額	3,997,500	750,000
福利厚生費支出	2,190,000	2,490,000	予備費支出	3,000,000	3,000,000
退職金支出	0	0	当期収支差額	△31,060,000	△31,735,000
会議費支出	5,100,000	5,550,000	前期繰越収支差額	279,564,536	289,829,993
旅費交通費支出	3,950,000	3,925,000	次期繰越収支差額	248,504,536	258,094,993
通信運搬費支出	2,240,000	2,230,000			
消耗品費支出	870,000	870,000			
印刷製本費支出	3,080,000	2,780,000			

(注) 収支予算書に対する注記

・前期繰越収支差額

令和7年度収支予算書における前期繰越収支差額は、令和6年度決算書(令和7年3月31日)の決算見込み額で計上している

OB・OG探訪

対談

「同窓会の未来を語る」

「つながり」を深め、未来へ
——同窓会の役割とは

川畑 懿子

一般社団法人福岡大学同窓会
有信会理事長(商34)

河邊 哲司

福岡大学附属大濠高校同窓会会長(商53)
(久原本家グループ本社代表取締役社長)

時代と共に変化を求められる同窓会の未来と、これからの役割や課題についてお二人に語ってもらった。

——同窓会の役割について

川畑氏 有信会は88年の歴史を誇る伝統ある組織です。単なる親睦団体にとどまらず、母校や社会貢献など多岐にわたる役割を担っています。

河邊氏 同窓会は、卒業生にとって生涯の学び舎であり、社会人になってもつながりを保てる貴重な場です。特に、若い人には、先輩との交流を通じて、キャリア形成や人生設計のヒントを得る機会にもなります。



——同窓会の活性化への取り組み

川畑氏 同窓会の活性化には、会員一人ひとりの主体的な参加が不可欠です。会員の主体的な参加を促し、魅力的なイベントや情報発信の強化などに取り組んでいます。



同窓会の未来について語る川畑理事長と河邊会長

——若手会員の参加について

河邊氏 大濠高校でも県内外の支部と連携を深めています。校友会活動では、生徒が全国大会や甲子園出場などの際にも観覧、応援していただいています。



り、対策が必要です。母校に貢献する新しい形の同窓会活動が求められています。現役学生との交流イベントやキャリア支援が効果的ではないでしょうか。

川畑氏 そうですね。活動をより知っていただくためホームページの改善、広報紙のリニューアルを図ってきましたが、今後は若手会員による企画、運営等ができる体制が整うよう努めて参りたいと考えております。

——百周年を迎える母校へのメッセージを

川畑氏 母校は2034年に百周年を迎え、同窓会はさらに重要な役割を担います。会員一人ひとりが、同窓会の未来について真剣に考え、積極的に行動することが必要かと存じます。

河邊氏 母校が百周年を迎えるまでに同窓会は、多様な人々が参加できる、より開かれた組織へと進化していくはず

【お詫び・訂正】

訂正 令和6年9月発行の「有信」166号で、9ページ「福岡大学病院新本館が開院記念式典」の記事1行目の「3月6日」とあるのは「4月6日」の誤りでした。

お悔やみ申し上げます

（大学関係）
嶋崎 俊行 名誉教授（工学部）
令和6年12月16日逝去（80歳）
（有信会関係）
篠原 統（経済40）理事・経済学部同窓会会長・代議員・福岡大学評議員
令和6年12月27日逝去（83歳）

【学部同窓会開催について】

学 部 同 窓 会 名	開 催 日
薬 学 部 同 窓 会	4月20日(日)
経 済 学 部 同 窓 会	5月24日(土)
工学部・電気工学科(福電会)	5月31日(土)
医学部同窓会(烏帽子会)	7月5日(土)
工学部・土木・社理工学科(福陽会)	9月下旬
法 学 部 同 窓 会	11/ホームカミングデー開催日
工学部・機械工学科(福機会)	11/ホームカミングデー開催日
理 学 部 同 窓 会	11月22日(土)

学 部 同 窓 会 名	開 催 日
商学部第二部同窓会	11月23日(日)
工 学 部 同 窓 会	R8年2月下旬

【校友会OB会周年】

学 友 会 名	開 催 日
少林寺拳法部創立 60周年記念式典	5月3日(土・祝)
バレーボール部創立 90周年記念総会	7月20日(日)